

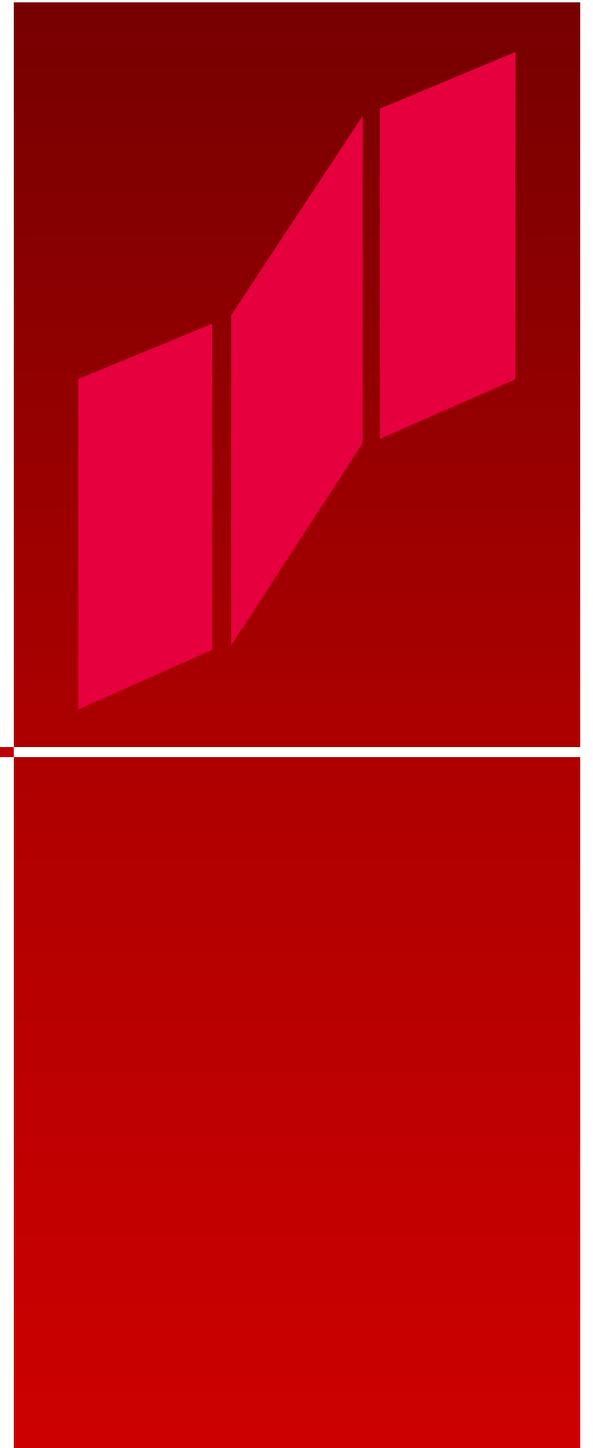
# 2021年3月期 第2四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2020年10月30日

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

 SMBC日興証券



[ 参考資料 ]

2021年3月期 第2四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	16
業績の四半期推移	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	17
純営業収益	4	四半期損益推移 (内部管理ベース)	18
受入手数料	5	営業指標-1	19
トレーディング損益 (金融収支調整後)	6	営業指標-2	20
販売費・一般管理費	7	営業指標-3	21
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	8	三井住友銀行との連携について	22
リーゲテーブル	9	銀証合算のリテール運用資産残高について	23
預り資産残高・資産導入額	10		
海外拠点収支 (内部管理ベース)	11		
【ご参考】内部管理ベース (SMBC日興証券単体+海外拠点)	12		
海外ネットワーク	13		
トピックス	14		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2020年10月30日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

# 2021年3月期 第2四半期決算サマリー

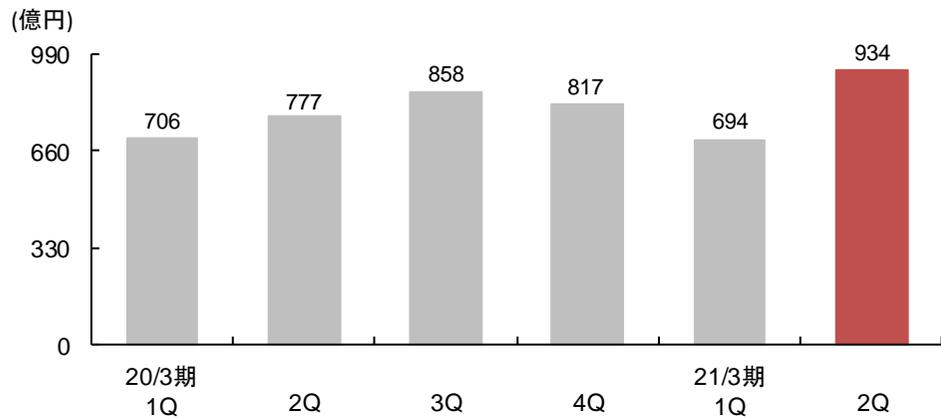
2021年3月期 第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 純営業収益 934億円(前四半期比+35%) 経常利益 283億円(同 3.8倍) 当期純利益(*) 217億円(同 3.4倍)</li> <li>営業活動の本格再開やお客さまへのポートフォリオ提案の開始などを背景に投信募集、米株取引が増加 また、株式引受において大型案件に関与</li> <li>■ 販売費・一般管理費 680億円(同+9%)</li> </ul>
2021年3月期 上期	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 純営業収益 1,628億円(前年同期比+10%) 経常利益 359億円(同+84%) 当期純利益(*) 282億円(同+71%)</li> <li>地政学リスクによる先行き不透明感のあった前年同期との比較では増収 また、期を通じて抑制的なコスト運営により販売費・一般管理費が減少</li> <li>■ 販売費・一般管理費 1,305億円(同-1%)</li> </ul>
財政状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2020年9月末の総資産11.2兆円、純資産8,809億円</li> <li>■ 自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は315%と安定した財務基盤を維持</li> </ul>

経営成績 (単位:億円)	21/3期		前四半期比 増減率	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比 増減率
	1Q	2Q				
営業収益	957	1,099	+15%	1,892	2,056	+9%
純営業収益	694	934	+35%	1,484	1,628	+10%
販売費・一般管理費	624	680	+9%	1,317	1,305	-1%
経常利益	75	283	3.8倍	194	359	+84%
税金等調整前当期純利益	92	284	3.1倍	203	377	+85%
当期純利益(*)	64	217	3.4倍	164	282	+71%
財政状態	2020年 3月末	2020年 9月末	前期末比 増減額	2019年 9月末	2020年 9月末	前年同期末比 増減額
総資産	12.2兆円	11.2兆円	-1.0兆円	12.7兆円	11.2兆円	-1.4兆円
純資産	8,514億円	8,809億円	+295億円	8,302億円	8,809億円	+507億円

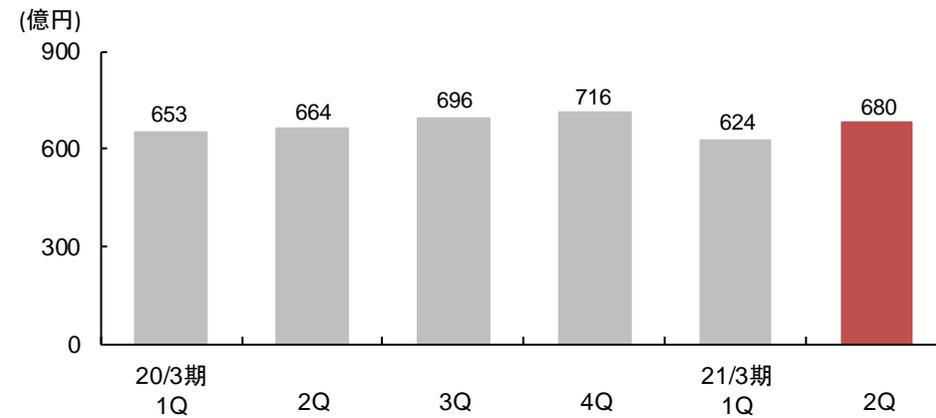
(\*) 当社株主に帰属する当期純利益

# 業績の四半期推移

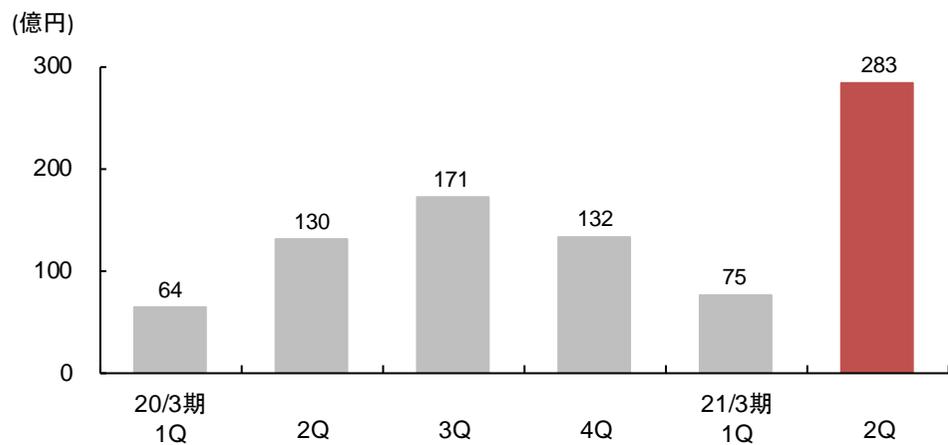
## 純営業収益



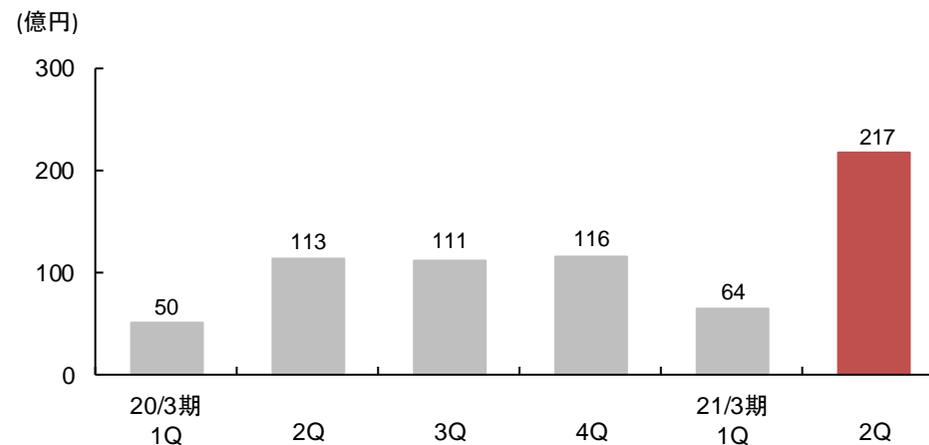
## 販売費・一般管理費



## 経常利益

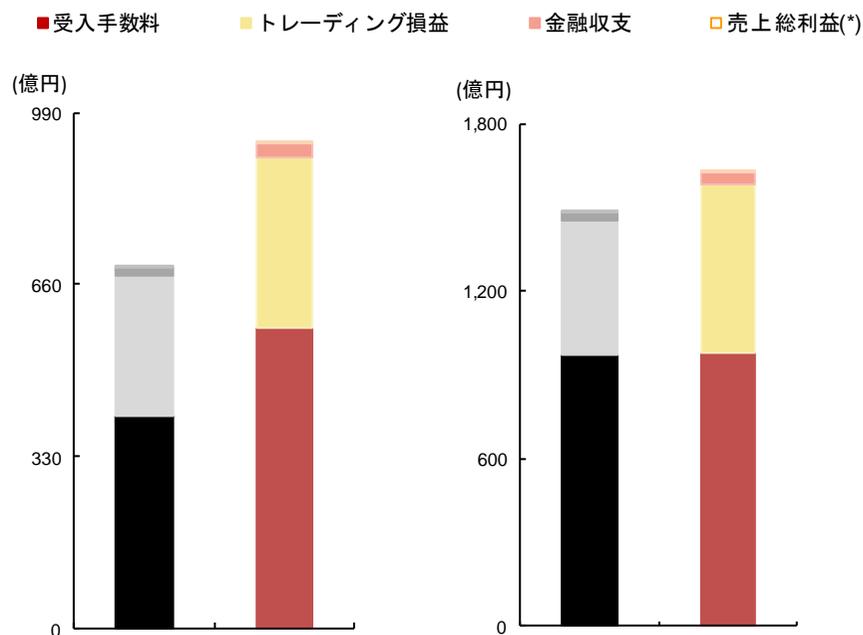


## 当期純利益(\*)



(\*) 当社株主に帰属する当期純利益

# 純営業収益



(単位: 億円)	前四半期比			前年同期比		
	21/3期 1Q	2Q	前四半期比	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比
受入手数料	406	576	+42%	969	982	+1%
トレーディング損益	273	327	+20%	483	601	+24%
金融収支	12	29	2.4倍	27	41	+51%
売上総利益(*)	1	1	+6%	4	2	-38%
合計	694	934	+35%	1,484	1,628	+10%

## 前四半期比

純営業収益すべての項目で増収

- ◇ 受入手数料 (前四半期比+170億円、+42%)
- ◇ トレーディング損益 (前四半期比+54億円、+20%)
- ◇ 金融収支 (前四半期比+17億円、2.4倍)

## 前年同期比

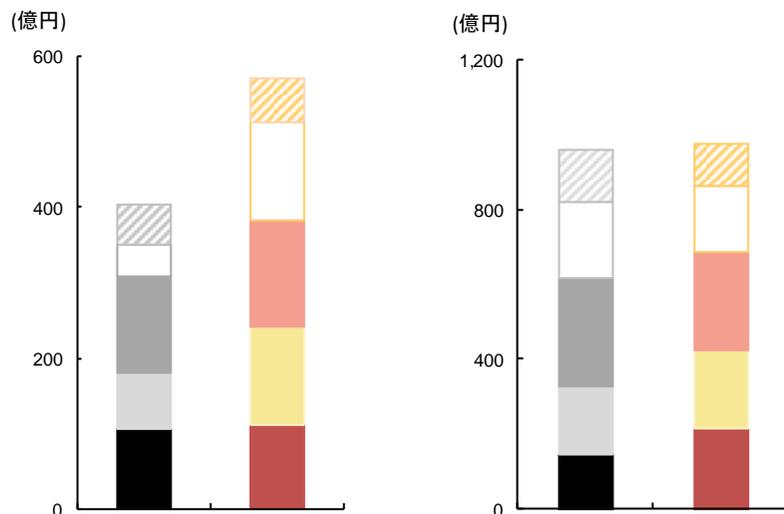
売上総利益を除く項目で前年同期比増加し、純営業収益全体で増収

- ◇ 受入手数料 (前年同期比+13億円、+1%)
- ◇ トレーディング損益 (前年同期比+118億円、+24%)
- ◇ 金融収支 (前年同期比+14億円、+51%)

(\*) 売上高-売上原価

# 受入手数料

■ 株式委託手数料 ■ 投信募集手数料 ■ FW手数料・代行手数料 □ 引受手数料 □ 受手その他



(単位: 億円)

	21/3期 1Q	2Q	前四半期比	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比
株式委託手数料	108	113	+4%	150	221	+48%
投信募集手数料	74	131	+77%	182	206	+13%
FW手数料・代行手数料	127	139	+10%	289	266	-8%
引受手数料	43	131	3.0倍	206	175	-15%
受手その他	52	60	+14%	139	112	-19%
合計	406	576	+42%	969	982	+1%
株式委託売買代金(*1)	102,303	96,158	-6%	165,887	198,461	+20%
東証シェア(%)	2.54%	2.54%	-0.00pt	2.46%	2.54%	+0.08pt
個人委託シェア(%)(*2)	4.60%	5.25%	+0.66pt	4.87%	4.91%	+0.04pt
投信販売額(*3)	2,577	4,867	+89%	6,213	7,444	+20%
投信残高	100,625	103,859	+3%	104,856	103,859	-1%
FW残高	20,123	20,651	+3%	20,250	20,651	+2%

## 前四半期比

- ◇ 株式委託手数料 (前四半期比+5億円、+4%)  
取引は減少したものの、個人委託シェアは増加
- ◇ 投信募集手数料 (前四半期比+57億円、+77%)  
営業活動の本格再開やお客さまニーズを捉えたファンドを販売
- ◇ 引受手数料 (前四半期比+88億円、3.0倍)  
株式引受は複数の大型案件に関与。また、債券においても、引き続き手許資金の確保を目的とした発行ニーズが高く活況

## 前年同期比

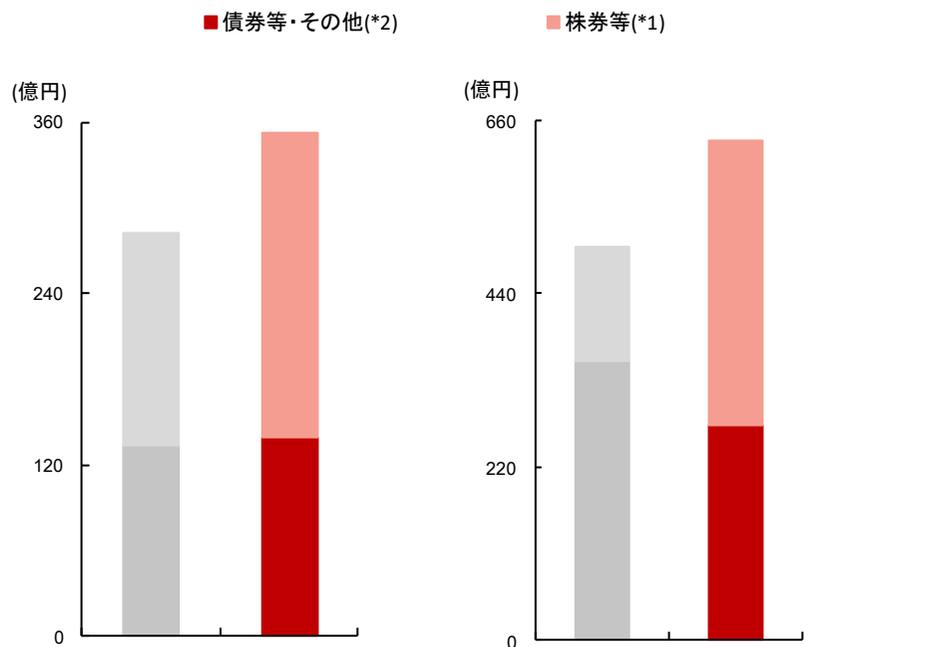
- ◇ 株式委託手数料 (前年同期比+71億円、+48%)  
お客さまのマインド改善により取引が増加。また、取引に占める個人のお客さまの割合も増加
- ◇ 投信募集手数料 (前年同期比+24億円、+13%)  
地政学リスクを背景にマーケットリスクが意識された前年同期と比べマーケット環境は改善
- ◇ 引受手数料 (前年同期比-31億円、-15%)  
期初は新型コロナウイルス感染拡大を受け、国内株式発行市場が大きく縮小、また、当社の債券引受も総じて低調

(\*1) 集計対象は全市場

(\*2) 集計対象は東証・名証の一部・二等

(\*3) ノーロード投信除く

# トレーディング損益 (金融収支調整後)



(単位：億円)	21/3期 1Q	2Q	前四半期比	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比
株券等(*1)	148	214	+45%	146	362	2.5倍
(うち配当等)	(14)	(37)	2.5倍	(42)	(52)	(+23%)
債券等・その他(*2)	134	139	+4%	354	274	-22%
(うち利子)	(-5)	(-11)	(-)	(-26)	(-16)	(-)
合計(*3)	283	354	+25%	500	637	+27%

## 前四半期比

- ◇ 株券等 (前四半期比+66億円、+45%)  
四半期ベースで外国株式店頭取引が過去最高の水準
- ◇ 債券等・その他 (前四半期比+5億円、+4%)  
お客様のアクティビティが低調な状態が継続

## 前年同期比

- ◇ 株券等 (前年同期比+216億円、2.5倍)  
拡大基調にある外国株式店頭取引が、前年同期比大幅増加
- ◇ 債券等・その他 (前年同期比-80億円、-22%)  
新型コロナウイルス感染症の影響もありお客様のアクティビティが減少

・ 配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

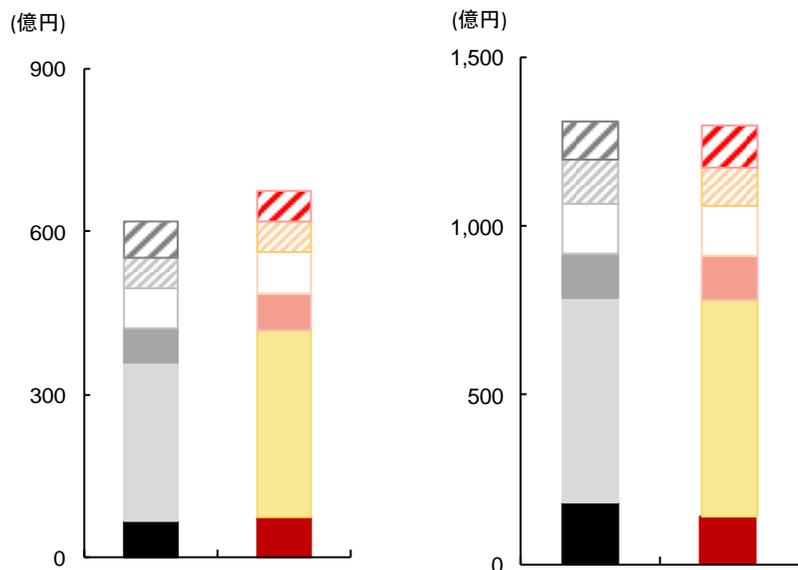
(\*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)

(\*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

(\*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

# 販売費・一般管理費

■取引関係費 ■人件費 ■不動産関係費 ■事務費 ■減価償却費 ■その他



(単位: 億円)

	21/3期 1Q	2Q	前四半期比	20/3期 上期	21/3期 上期	前年同期比
取引関係費	68	75	+10%	184	144	-22%
人件費	294	347	+18%	607	641	+6%
不動産関係費	63	65	+3%	132	129	-2%
事務費	73	76	+3%	144	149	+3%
減価償却費	57	58	+3%	131	115	-12%
その他	66	56	-15%	117	123	+6%
販売費・一般管理費	624	680	+9%	1,317	1,305	-1%
販売費・一般管理費/純営業収益	90%	73%	-17pt	89%	80%	-9pt

## 前四半期比

- ◇ 取引関係費 (前四半期比+7億円、+10%)  
取引量や業績に連動する費用が増加
- ◇ 人件費 (前四半期比+53億円、+18%)  
業績に連動する費用が増加

## 前年同期比

- ◇ 取引関係費 (前年同期比-40億円、-22%)  
前四半期から引き続き抑制的なコスト運営を進めた結果、旅費  
交通費・広告宣伝費が減少
- ◇ 人件費 (前年同期比+34億円、+6%)  
業績に連動する費用が増加

## 連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

(単位：億円)	20年3月末	20年9月末	前期末比増減
流動資産	119,532	109,093	-10,438
トレーディング商品	32,964	29,302	-3,661
有価証券担保貸付金	61,721	57,554	-4,167
その他	24,846	22,236	-2,609
固定資産	3,237	3,505	+268
有形固定資産	303	305	+1
無形固定資産	679	676	-2
投資等その他の資産	2,254	2,523	+269
<b>資産合計</b>	<b>122,769</b>	<b>112,599</b>	<b>-10,170</b>
流動負債	108,665	98,793	-9,871
トレーディング商品	26,877	22,761	-4,116
有価証券担保借入金	55,609	49,301	-6,308
短期借入金/CP	14,755	15,230	+475
その他	11,422	11,500	+77
固定負債・準備金	5,589	4,995	-594
<b>負債合計</b>	<b>114,254</b>	<b>103,789</b>	<b>-10,465</b>
<b>純資産</b>	<b>8,514</b>	<b>8,809</b>	<b>+295</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>122,769</b>	<b>112,599</b>	<b>-10,170</b>

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	20年3月末	20年9月末	前期末比増減
基本的項目	7,573	7,844	+270
補完的項目	374	564	+189
控除資産	2,032	2,181	+148
固定化されていない自己資本	5,915	6,227	+311
リスク相当額	1,921	1,978	+57
市場リスク	514	613	+98
取引先リスク	653	578	-75
基礎的リスク	752	787	+34
<b>自己資本規制比率</b>	<b>308%</b>	<b>315%</b>	<b>+7pt</b>

長期格付 (2020年10月30日現在) 【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [安定的]	AA- [安定的]	AA [安定的]

# リーグテーブル

## グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(\*1) 2020年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	SMBC日興	3,334	14.5%
2	大和	3,042	13.2%
3	野村	3,014	13.1%
4	みずほ	2,524	11.0%
5	ゴールドマン・サックス	2,161	9.4%

## 新規公開株式引受(\*2) 2020年度 【SMBC日興証券単体】

【案件数ベース】			【引受金額ベース】	
順位	主幹事	件数	順位	引受金額 金額 (億円)
1	野村	7	1	SMBC日興 303
2	SMBC日興	6	2	大和 234
3	大和	5	3	みずほ 140
3	みずほ	5	4	クレディ・スイス 104
5	SBI	4	5	SBI 39

## 円債総合-主幹事(\*3) 2020年度 【SMBC日興証券単体】

順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	みずほ	28,508	20.9%
2	野村	26,075	19.2%
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	25,056	18.4%
4	SMBC日興	24,451	18.0%
5	大和	23,623	17.4%

## ファイナンシャル・アドバイザー(\*4) 2020年度

【案件数ベース】			【取引金額ベース】	
順位	アドバイザー	案件数	順位	アドバイザー 取引金額 (億円)
1	三井住友FG	53	1	モルガン・スタンレー 104,929
2	野村	36	2	野村 95,847
3	Deloitte	35	3	ゴールドマン・サックス 56,736
4	みずほFG	29	4	Deloitte 52,299
5	モルガン・スタンレー	19	8	三井住友FG 29,440

(\*1) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

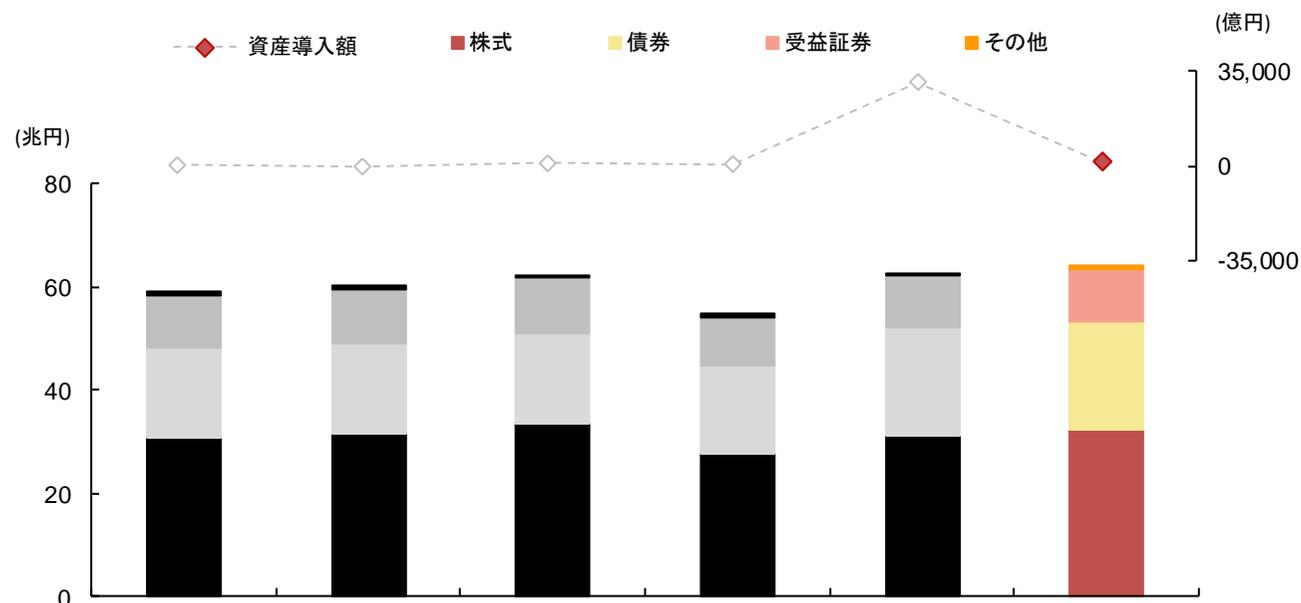
9 (\*2) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(日本の取引所に上場した案件のみ、ジョイント主幹事を含む)

(\*3) 出所: REFINITIVの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

(\*4) 出所: REFINITIV 日本企業関連M&A公表案件

# 預り資産残高・資産導入額

【SMBC日興証券単体】



(単位: 兆円)

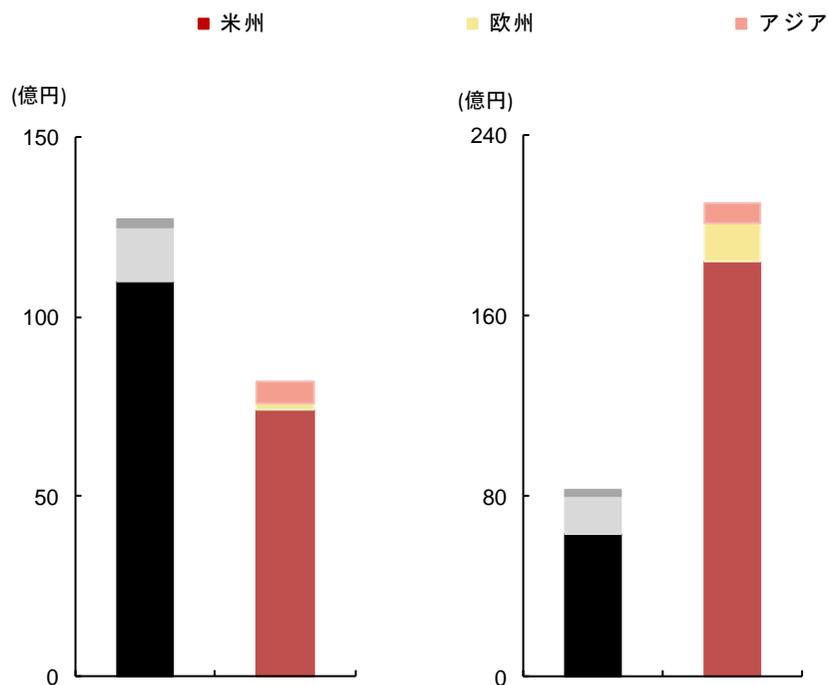
	20/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	21/3期 6月末	9月末
株式	30.7	31.7	33.5	27.7	31.1	32.5
債券	17.5	17.5	17.3	17.0	21.0	20.7
受益証券	10.3	10.5	10.9	9.4	10.1	10.4
その他	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
預り資産残高	59.0	60.1	62.3	54.8	62.8	64.2

(単位: 億円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
資産導入額(*)	216	-286	917	633	31,150	1,236
入金入庫	12,228	14,606	12,442	17,243	42,382	13,550
出金出庫	-12,012	-14,892	-11,525	-16,609	-11,232	-12,314

(\*) 集計対象は公益法人を含む営業部門

# 海外拠点収支 (内部管理ベース)



(単位: 億円)	21/3期			20/3期		
	1Q	2Q	前四半期比	上期	上期	前年同期比
米州	110	74	-33%	63	184	2.9倍
欧州	15	2	-86%	17	17	+3%
アジア	2	6	2.9倍	3	9	2.5倍
海外拠点合計(*)	128	83	-35%	84	211	2.5倍

## 前四半期比

◇ 海外拠点収支 (前四半期比-45億円、-35%)

前四半期との比較では収支が減少しているものの、米州におけるDCMビジネスを中心に収益を確保

また、グローバルオフリング案件が寄与し、各拠点ともエクイティビジネスが好調

一方、欧州においてはFISTビジネス、DCMビジネスが低調

## 前年同期比

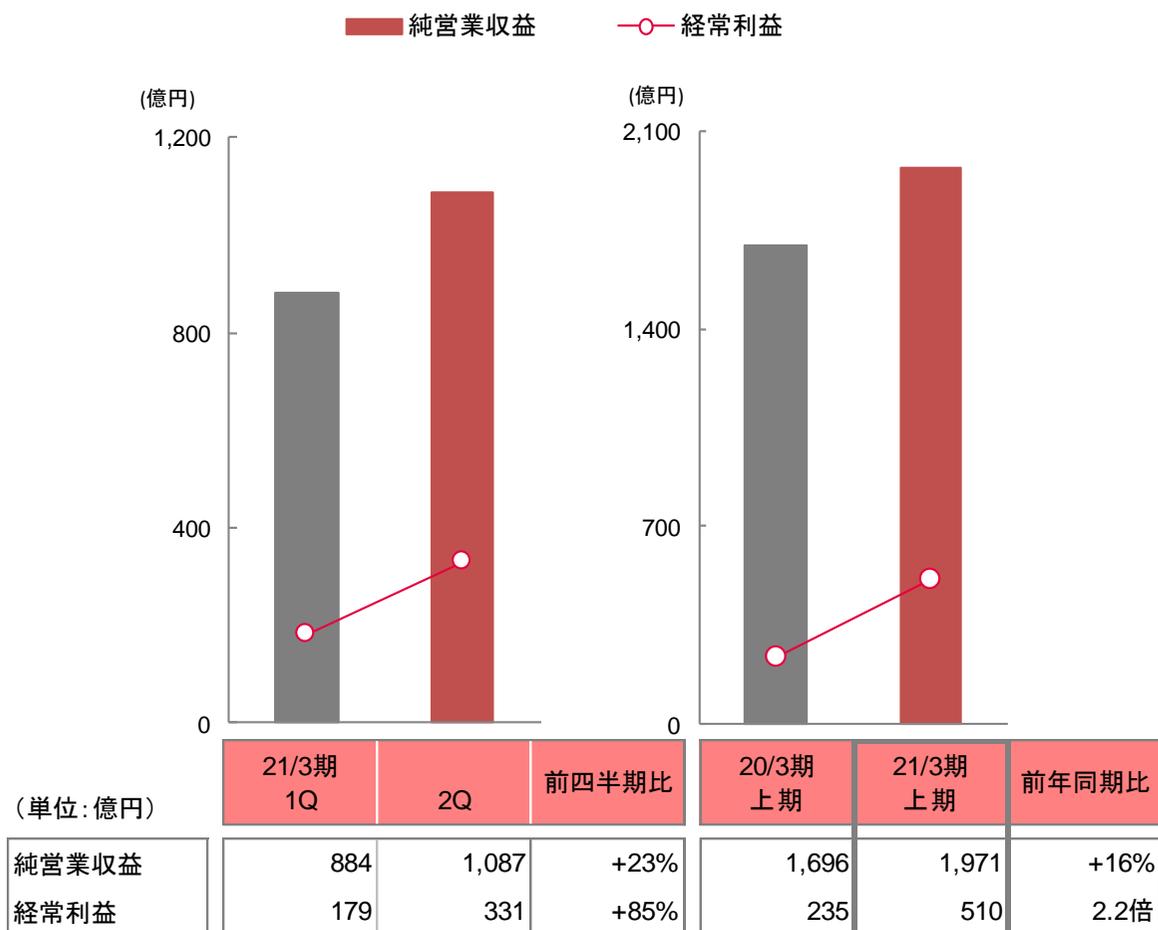
◇ 海外拠点収支 (前年同期比+127億円、2.5倍)

米州において、コロナ禍による発行体の資金調達ニーズを捉えて、DCMビジネスが好調

(\*) 海外拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)、欧州SMBC日興キャピタル・マーケット、SMBC日興投資コンサルティング(上海)、SMBC日興ルクセンブルク銀行/SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニーの収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(議決権比率:当社20.00%、SMBCアメリカホールディングス(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支

# 【ご参考】内部管理ベース (SMBC日興証券単体+海外拠点)



## 前四半期比

- ◇ 純営業収益 (前四半期比+203億円、+23%)
- ◇ 経常利益 (前四半期比+152億円、+85%)

## 前年同期比

- ◇ 純営業収益 (前年同期比+275億円、+16%)
  - ◇ 経常利益 (前年同期比+275億円、2.2倍)
- SMBCグループ一体でソリューション提案に取り組んだ結果、案件獲得に繋がり内部管理ベースの利益は大幅に増加

(\*) 単純合算した計数(海外拠点からの受取配当金控除後)

# 海外ネットワーク

## 英国SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザリー
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

## 欧州SMBC日興キャピタル・マーケット

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 株式・債券引受
- IRアレンジ
- スワップ関連業務

## SMBC日興セキュリティーズ(香港)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- 債券引受案件のための発行体カバレッジ
- M&Aアドバイザリー
- 中華圏進出コンサルティング
- IRアレンジ

## SMBC日興ルクセンブルク銀行

- ファンド・カストディ
- ファンド・アドミニストレーション

## SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー

- ファンド管理

## SMBC日興証券株式会社 北京駐在員事務所

- 中国当局、現地金融機関及び企業からの情報収集
- 中国のマーケットや規制動向に関する情報収集

## SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ(サンフランシスコ支店)

- 日本株セールス&トレーディング、米国株ブローカレッジ
- M&Aアドバイザリー
- IRアレンジ

## SMBC日興セキュリティーズ・アメリカ

- 日本株・債券セールス&トレーディング、米国株リサーチ・ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- ストラクチャード・ファイナンス
- M&Aアドバイザリー
- IRアレンジ

## SMBC日興セキュリティーズ(カナダ)

- 債券引受(パッシング\*)

## SMBC日興投資コンサルティング(上海)

- M&Aアドバイザリー関連業務

## 日興証券インドネシア

- インドネシア株ブローカレッジ
- 株式・債券引受
- M&Aアドバイザリー
- インドネシア進出コンサルティング
- アセットマネジメント業務

## SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)

- 日本株・債券セールス&トレーディング
- M&Aアドバイザリー
- プライベートウェルス業務
- IRアレンジ

## SMBC日興セキュリティーズ(香港)(シドニーオフィス)

- 債券引受案件のための発行体カバレッジ

### 提携先(アジア)

#### KB証券(本社:ソウル)

- M&Aアドバイザリー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携

#### ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)

- M&Aアドバイザリー業務及びDCM業務を中心とした業務提携

#### ペトロベトナム証券(本社:ハノイ)

- 海外進出支援等を中心とした業務提携

#### ファトラ証券(本社:バンコク)

- M&Aアドバイザリー及びDCM/ECM業務における提携

#### コタック・マヒンドラ・キャピタル(本社:ムンバイ)

- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携

### 提携先(米州)

#### シティグループ(本社:ニューヨーク)

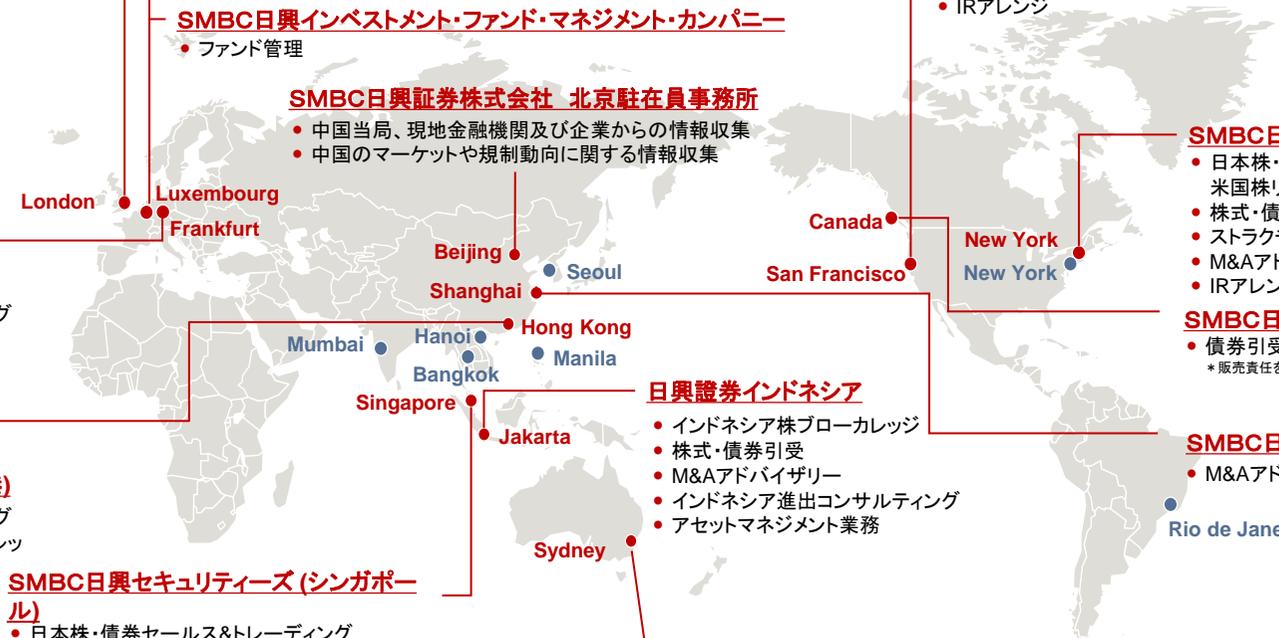
- 多様な分野でワールドワイドに業務協働

#### モーリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)

- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携

#### BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)

- M&Aアドバイザリー業務を中心とした業務提携



- 海外拠点
- 提携先

## 業務改革

### • 業務改革への取り組み

- 中期経営計画の目標である「創造的企業への変革」に向け、「新たな価値の創造」や「生産性の向上」、「エンゲージメントの向上」を図るべく、業務改革に着手
- お客さま起点で、お客さまの一層の利便性向上や、商品・サービスの拡充等に取り組みつつ、業務効率化等も併せて推進

### ＜業務改革の概要＞

- ・お客さまのニーズに応じた店舗機能の多様化
- ・「いつでも、どこでも」を実現するリモート環境の整備やウィズ/アフターコロナを見据えたデジタル対応の強化、及び業務フローの見直し・効率化（ペーパーレスを含む）
- ・「いつでも、どこでも」の実現を見据えた、本社オフィスの改革（労働集約型の場所から、価値創造の場所への変革）
- ・新しい働き方を推進する働き方改革

### 【主な実績】

- ・サテライトオフィス・・・10月より試行、来年1月より本格展開予定
- ・リモート環境での約定対応やiPadによる口座開設等諸手続きの電子化(8月～)実施
- ・本社業務削減・・・約1,000人相当分の業務量削減計画策定中計期間中の実現を目指し、成長分野への配置等に繋げる

## イノベーション推進

### • 新たな顧客体験価値の創出

- 本年3月にNikko Open Innovation Labを新設
  - ✓ Nikko Ventures(社内新規事業プロジェクト)によるアイデア発掘、及び採択案件の実用化に向けた推進
  - ✓ 異業種を含む様々な企業、学術機関等との協働

## SBIグループとの提携

### • SBIマネープラザへの出資

- SMBC日興証券とSBI証券及びSBIマネープラザは、地域金融機関の対面証券ビジネスの共同展開に係る資本提携を発表
- 株式取得後はSMBC日興証券とSBIマネープラザの間で人材交流を行い、SMBC日興証券が有する証券営業の知見を、SBIマネープラザと地域金融機関が運営する共同店舗における営業活動にも活かし、お客さまに一層高度な金融サービスを提供する

## 日興フロッギー ACC グランプリ受賞

- 記事から株が買える投資サービス「日興フロッギー」がACC TOKYO CREATIVITY AWARDSのブランデッド・コミュニケーション部門Aカテゴリーにて、グランプリ(総務大臣賞)を受賞
  - その他部門(マーケティング・エフェクティブネス部門:ゴールド、ブランデッド・コミュニケーション部門Bカテゴリー:シルバー、デザイン部門:ブロンズ)でも受賞

## 参考資料

---

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future



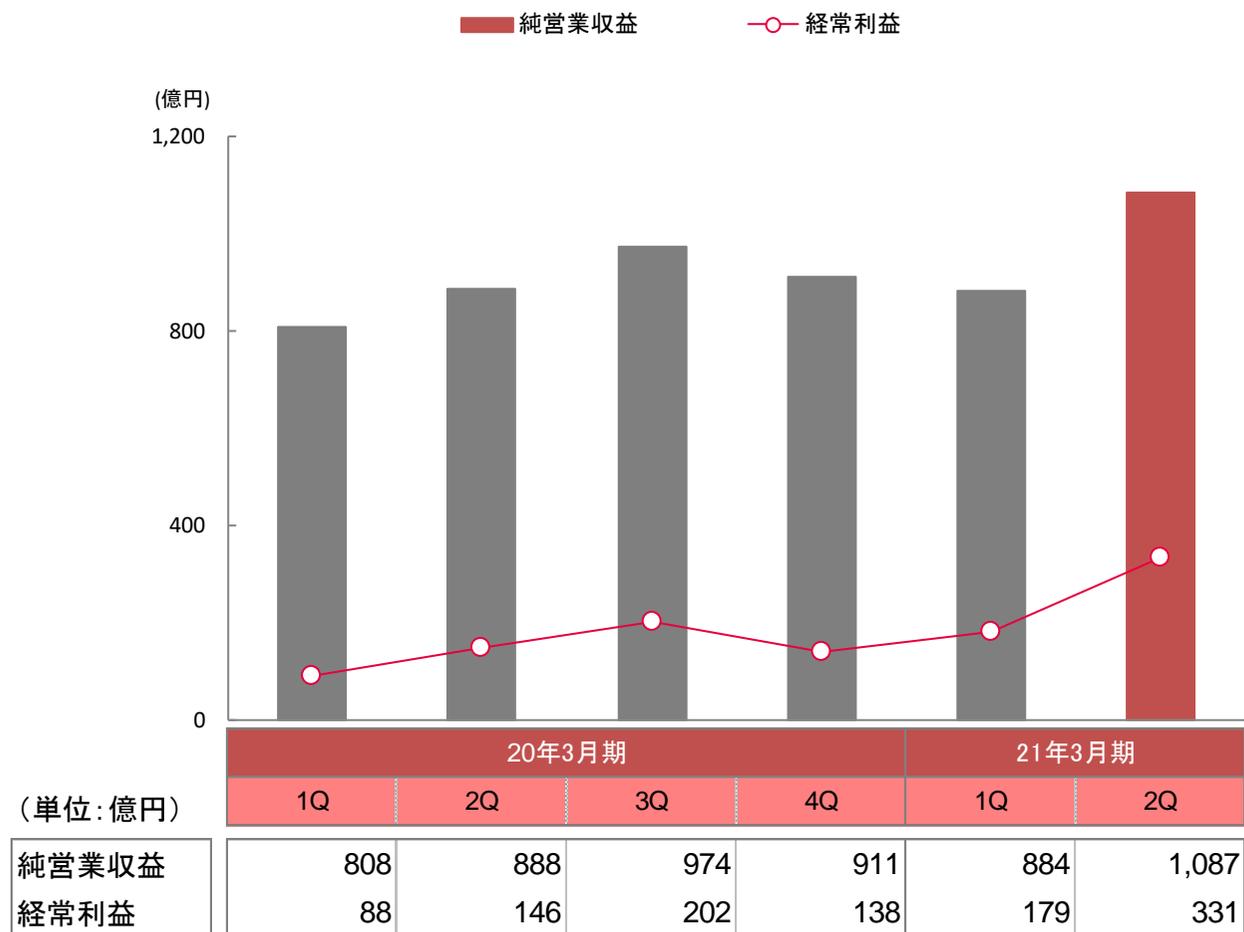
## 四半期損益推移 (連結)

(単位:百万円)	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	92,780	96,480	108,757	100,731	95,718	109,963
受入手数料	45,619	51,282	56,115	51,898	40,679	57,616
委託手数料	7,859	8,495	10,042	11,923	11,854	11,850
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,821	11,870	12,479	7,695	4,394	13,137
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	9,157	11,073	13,650	12,119	7,549	13,944
その他の受入手数料	19,780	19,843	19,942	20,160	16,879	18,683
トレーディング損益	23,464	24,912	28,395	26,924	27,381	32,779
株券等	5,031	5,285	11,464	10,109	13,343	17,670
債券等・その他	18,433	19,626	16,930	16,815	14,038	15,108
金融収益	21,199	18,085	22,511	20,083	25,672	17,750
売上高	2,497	2,200	1,735	1,825	1,985	1,817
金融費用	20,255	16,263	21,428	17,469	24,434	14,817
売上原価	1,843	2,432	1,477	1,550	1,858	1,683
純営業収益	70,681	77,784	85,850	81,711	69,425	93,462
販売費・一般管理費	65,344	66,429	69,624	71,624	62,457	68,045
営業利益	5,336	11,354	16,226	10,087	6,968	25,416
経常利益	6,469	13,019	17,127	13,232	7,542	28,368
特別損益	-321	1,181	-129	-118	1,659	129
税金等調整前当期純利益	6,148	14,200	16,998	13,113	9,202	28,498
法人税等	1,058	2,828	5,816	1,507	2,663	6,791
当期純利益	5,089	11,371	11,181	11,606	6,538	21,706
親会社株主に帰属する当期純利益	5,094	11,363	11,195	11,629	6,472	21,744

# 四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位: 百万円)	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益	87,482	91,164	103,339	96,031	90,175	104,874
受入手数料	43,170	48,493	52,729	49,306	37,357	54,422
委託手数料	7,168	7,754	9,316	11,449	11,179	11,197
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	8,488	11,432	11,714	7,338	3,467	12,689
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	9,129	11,056	13,618	12,076	7,467	13,355
その他の受入手数料	18,384	18,249	18,080	18,442	15,242	17,179
トレーディング損益	23,464	24,912	28,395	26,867	27,227	32,747
株券等	5,031	5,285	11,464	10,052	13,188	17,638
債券等・その他	18,433	19,626	16,930	16,815	14,038	15,108
金融収益	20,847	17,759	22,214	19,857	25,590	17,705
金融費用	20,000	16,066	21,284	17,340	24,401	14,779
純営業収益	67,482	75,097	82,054	78,691	65,773	90,095
販売費・一般管理費	63,653	65,423	66,869	68,372	60,508	66,156
営業利益	3,828	9,673	15,185	10,319	5,265	23,938
経常利益	4,757	10,663	15,357	11,842	5,674	24,844
特別損益	-240	296	-244	-540	8,504	138
税引前当期純利益	4,516	10,959	15,113	11,302	14,178	24,983
法人税等	568	2,269	5,388	1,497	2,345	6,315
当期純利益	3,947	8,689	9,725	9,804	11,833	18,667

# 四半期損益推移 (内部管理ベース\*)



(\*) SMBC日興証券単体と海外拠点を合算

◇主要商品販売額 (単位: 億円)	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託	5,339	6,893	6,824	7,190	4,604	6,930
(株式投資信託)	(3,774)	(4,841)	(4,946)	(4,989)	(3,373)	(5,248)
(外国籍投資信託)	(1,158)	(1,608)	(1,514)	(2,178)	(908)	(1,445)
ファンドラップ	694	614	936	587	262	431
外債 (*1)	6,725	4,775	6,454	6,031	4,241	4,877
(外貨建て債券)	(2,227)	(2,283)	(1,790)	(2,008)	(1,124)	(1,688)
国内債	11,052	16,520	13,773	10,081	8,870	15,492
(個人向け国債)	(1,759)	(2,894)	(2,716)	(3,248)	(17)	(710)
株式募集	666	924	1,164	734	4	2,123
年金・保険商品	396	307	299	183	61	152
主要商品販売額合計	24,871	30,034	29,451	24,807	18,041	30,005

(\*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株券引受 グローバル株式 (*2)	10.7%	15.4%	18.4%	19.8%	2.6%	14.5%
債券引受 円債総合 (*3)	18.7%	19.3%	18.8%	18.8%	14.4%	18.0%
M&A 日本企業関連 (*4)	11.2%	17.9%	14.8%	8.4%	8.2%	15.6%

(\*2) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

出所：REFINITIVの情報を基に当社が作成

(\*3) 円債総合・主幹事

出所：REFINITIVの情報を基に当社が作成

(\*4) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所：REFINITIV

## ◇ダイレクトチャネル比率(\*1)

	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
約定件数ベース	94.3%	94.2%	93.0%	95.0%	94.6%	94.4%
(日興イーजीトレード)	( 91.3%)	( 91.5%)	( 89.9%)	( 92.1%)	( 92.3%)	( 92.6%)
手数料ベース	26.3%	24.1%	23.2%	25.0%	18.5%	13.4%
(日興イーजीトレード)	( 16.1%)	( 15.2%)	( 14.8%)	( 16.0%)	( 13.0%)	( 9.1%)

(\*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引(委託売買、募集)に占める対面以外の比率。

(\*2) 当第2四半期において20年3月期1Qから21年3月期1Qを遡及修正

## ◇売買代金・手数料率(\*3)

(単位:億円)	20年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
株式委託売買代金	81,191	84,696	98,659	106,202	102,303	96,158
株式委託手数料(*4)	72	77	95	109	108	113
単純平均委託手数料率	8.1bp	8.4bp	9.0bp	9.5bp	10.0bp	11.2bp

(\*3) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(\*4) 連結ベース

## 営業指標-3

◇口座数 【SMBC日興証券単体】

(単位:千口座)	20年3月期				21年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
総口座数	3,433	3,449	3,455	3,453	3,489	3,541
証券総合口座数	2,936	2,949	2,959	2,974	3,007	3,051
新規登録口座数	30	31	28	39	39	53

◇店舗数 【SMBC日興証券単体】

	20年3月期				21年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内店舗数	142	143	144	141	141	140

◇人員数

	20年3月期				21年3月期	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
人員数	12,119	11,917	11,742	11,484	11,833	11,804
海外拠点人員数	770	791	795	802	814	779

(\*) 海外拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)、欧州SMBC日興キャピタル・マーケット、SMBC日興投資コンサルティング(上海)、SMBC日興ルクセンブルク銀行/SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニーの人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケットのうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカの人員数

# 三井住友銀行との連携について

【SMBC日興証券単体】

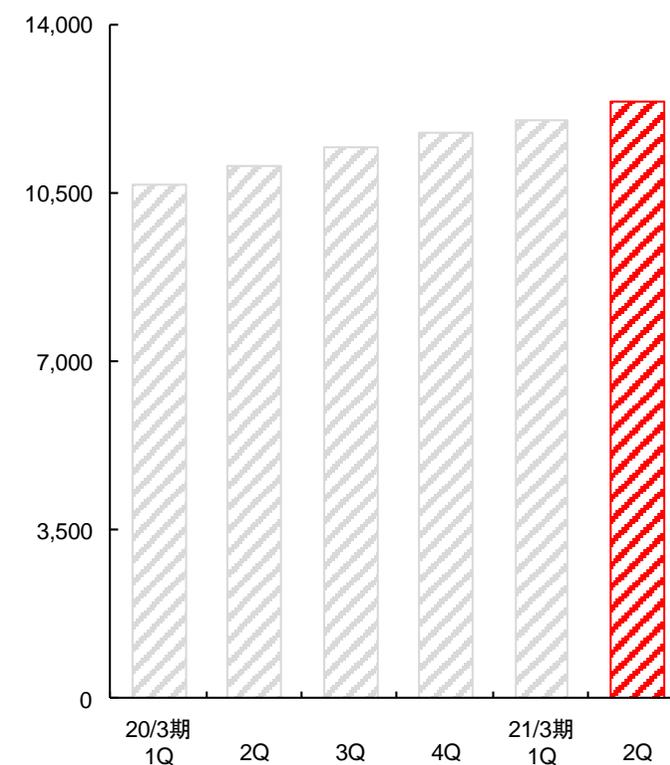
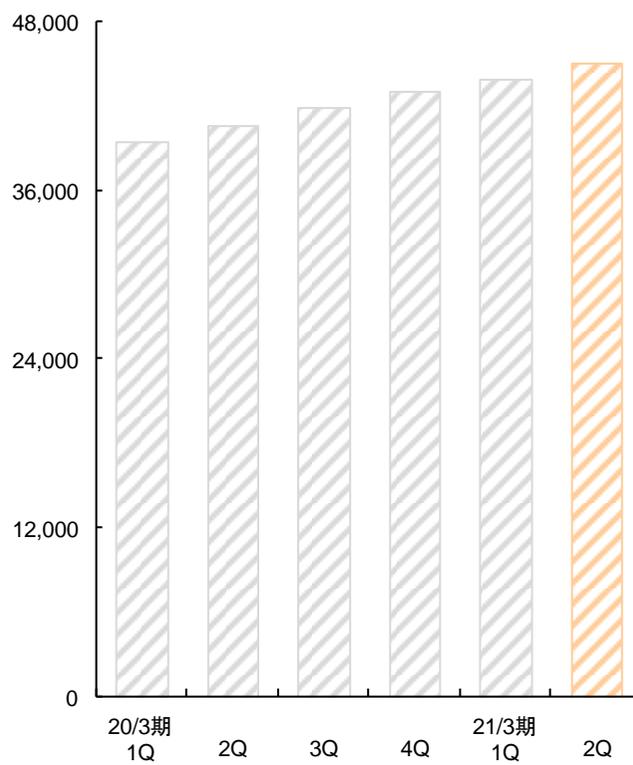
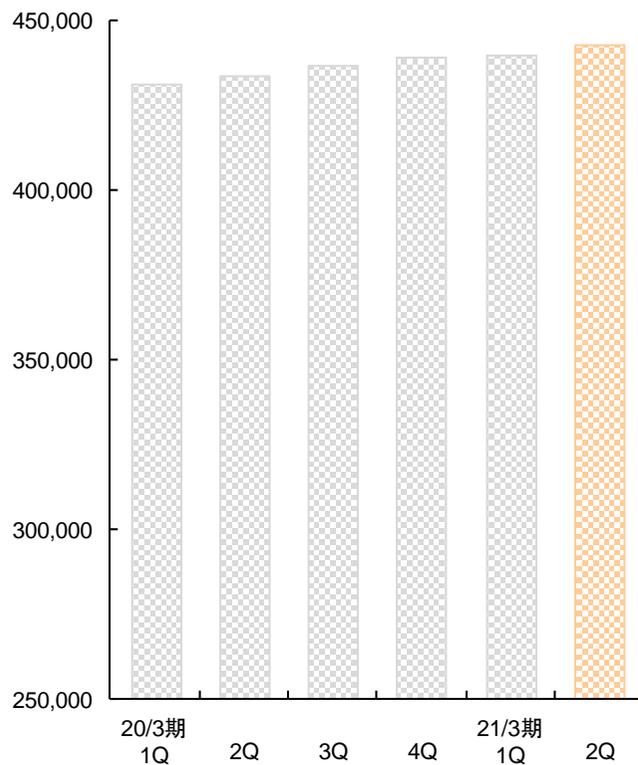
## 運用業務 (お客様紹介業務・金融商品仲介業務<sup>(\*)</sup>)

## 投資銀行業務 (お客様紹介業務)

個人のお客様 (口座数) <sup>(\*)2</sup>

法人のお客様 (累積件数) <sup>(\*)3</sup>

法人のお客様 (累積件数)



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

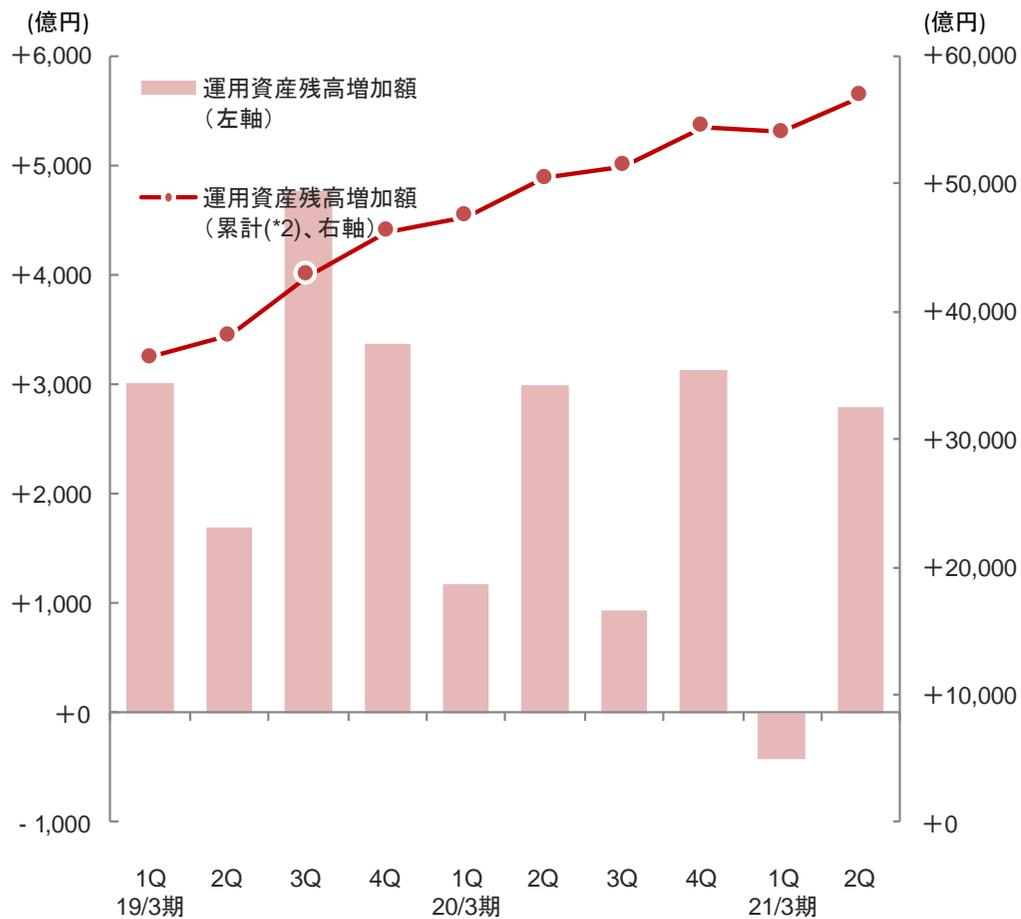
(\*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務: 当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

22 (2) SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の各四半期末時点の口座数

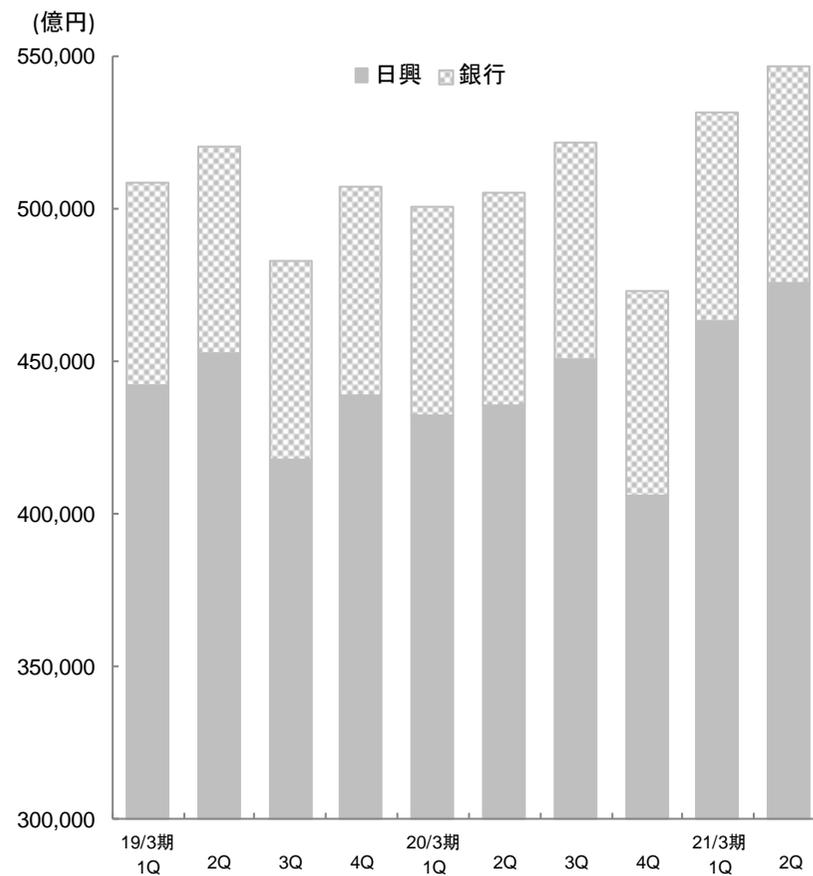
(3) SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

# 銀証合算のリテール運用資産残高について

## リテール銀証運用資産残高増減額 (\*1)



## リテール銀証運用資産残高 (\*3)



(\*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

(\*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(\*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(公益法人等の一部法人を含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future



SMBC日興証券